

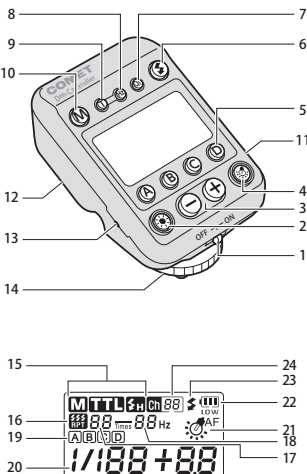
Dm-コントローラーをカメラに装着することで、Dm-360/TTL (別売) のワイヤレス操作が可能です。

撮影モードは、マニュアルモードのほかにマニュアル高速シャッターモード、TTLモード、TTL高速シャッターモード、マルチ発光モードなど多彩なモードが使用可能です。

※ TTL/TTL高速シャッターモードはDm-360TTLにて使用します。

セット内容 ● Dm-コントローラー ● RS-Tシンクロコード
● アルカリ乾電池単4形 (1.5V) × 2本 ● 取扱説明書 (本書) ● 保証書

■各部の名称とはたらき



1 メインスイッチ

電源スイッチです。ONにするとコントローラー本体の液晶表示が点灯します。使用後は必ずOFFにしてください。本機は電源をONにした状態で10秒間操作しないとスリープ状態になります。(完全にOFFになりません)

2 バックライトスイッチ

押すと液晶表示のバックライトが3秒間点灯します。

3 +/-スイッチ

ストロボ出力を調光します。光量を上げるときは+、下げるときは-を押します。FUJIFILM = 1/3EVステップ) 光量のほかにチャンネルナンバー (Ch) やマルチ発光モードの発光回数 (T)、発光周波数 (Hz) を設定する際に使用します。

4 モデリングランプスイッチ

モデリングランプモードを切り換えます。「消灯」、「出力連動調光」、「100%点灯」、「AF-ON」

5 グループスイッチ (A/B/C/D)

ABCDいずれかのスイッチを押して灯体を選択します。選択した灯体を個別に無線コントロールできます。長押しすると、灯体をOFF/ONにします。

6 テスト発光スイッチ

テスト発光する場合は押してください。同じチャンネルナンバーのDm-360が発光します。

7 チャンネル設定スイッチ

押すとコントローラーのチャンネルナンバーが点滅します。 +/-スイッチで01 ~ 80Chに設定します。設定が完了したらもう一度スイッチを押してください。

+/-スイッチで発光回数を設定します。設定が完了したらもう一度スイッチを押してください。

10 モードスイッチ (M)

発光モードを「TTLモード (TTL)」と「マニュアルモード (M)」に切り換えます。2秒間の長押しで各設定がリセットされ発光モードは「マニュアルモード」(出力1/4) になります。

11 機能拡張端子 (PROGRAM) (側面)

ファームウェアアップデート用の端子です。その他の用途に使用しないでください。

12 電池収納部 (底面)

単4形乾電池 (1.5V) 2本をセットします。極性表示に従い、正しい向きにセットしてください。

13 シンクロソケットφ2.5 (INPUT) (側面)

シンクローターミナル内蔵のカメラと付属のシンクロコードで接続します。ホットシュー接続のあるカメラは使用しません。発光モードはマニュアル (M) にセットしてください。

14 ホットシュー (底面)

カメラのアクセサリシューにしっかり差し込み、固定リングを矢印の方向に回して固定します。

15 発光モード表示

発光モードを表示します

・TTLモード (TTL)

カメラのシャッタースピードが先幕シンクロのとき、適正ストロボ出力を計算し発光します。

・マニュアルモード (M)

カメラのシャッタースピードが先幕シンクロのとき、ご希望のストロボ出力を設定できます。

[FUJIFILM] マルチ発光モード - 発光周波数スイッチ (Hz)

・長押しすると発光モードを「マルチ発光モード (RPT)」に切り換えます。
・「マルチ発光モード (RPT)」のとき、発光周波数 (Hz) の数値が点滅します。 +/-スイッチで発光周波数を設定します。設定が完了したらもう一度スイッチを押してください。

9 マルチ発光モード-発光回数設定スイッチ (T)

長押しすると発光モードを「マルチ発光モード (RPT)」に切り換えます。もう一度押すとTの数値が点滅します。

・TTL高速シャッターモード (TTL+H)

カメラのシャッタースピードが1/8000までの高速シャッターのとき、適正ストロボ出力を計算し発光します。

・マニュアル高速シャッターモード (M+H)

カメラのシャッタースピードが1/8000までの高速シャッターのとき、ご希望のストロボ出力を設定できます。

16 マルチ発光モード表示 (RPT)

17 発光回数表示 (Times)

マルチ発光モードのとき、発光回数 (Times) を表示します。

18 マルチ発光モード発光周波数表示 (Hz)

マルチ発光モードのとき、発光周波数 (1秒間の発光間隔) (Hz) を表示します。

19 グループ表示 (A/B/C/D)

グループスイッチで選択した灯体を□枠で表示します。

20 出力表示

ストロボ出力を表示します。
各灯スイッチ長押しで灯体をOFFにする
と「OF」が点滅表示します。

■Dm-コントローラーの準備

1. コントローラー底面の電池フタを開けてアルカリ乾電池単4形 (1.5V) 2本をセットします。
電池収納部の極性表示に従い、正しい向きにセットしてください。
※充電式電池 (1.2V) は使用できません。
※電池残量が少なくなるとDm-コントローラーからの操作到達距離が短くなったり、Dm-360の不発光が起きます。このような場合は新しい電池に交換してください。
2. カメラにDm-コントローラーを装着しDm-コントローラーとカメラの電源をONにします。
※カメラにDm-コントローラーを装着する際は、それぞれの電源をOFFにしてください。

■Dm-コントローラーの出荷時設定への戻し方

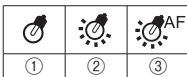
Dm-コントローラーのモードスイッチ (M) を2秒押しすと、コントローラーと、コントローラーと同じチャンネルに設定したDm-360がすべて、出荷時設定に戻ります。
(マニュアルモード (出力1/4) ・チャンネル1 ・グループA ・LEDモデリングOFF)

- 丸が一戻らない場合は、メインスイッチをOFFにして再度ONにしてください。

21 モデリングランプモード表示

- ・消灯
モデリングランプOFF

- ・マーク①
出力運動調光



- ・マーク②
100%点灯

- ・マーク③

カメラのシャッターを半押しで点灯。カメラからの信号停止で消灯。

22 バッテリーインジケーター

Dm-コントローラーの電池残量を表示します。電池残量が少なくなると「Low」が点滅表示します。

23 無線シンク口発信マーク

Dm-コントローラーから無線シンク口発信を発信したときに表示します。

24 チャンネルナンバー表示 (Ch)

チャンネルナンバー 01 ~ 80Chを表示します。

【ご注意】

- Dm-コントローラーをご使用になる場合は、操作・設定はDm-コントローラーにて行ってください。Dm-360本体を直接操作すると、コントローラーとDm-360の設定に違いが発生し、撮影に支障をきたす恐れがあります。
- カメラの機種によっては本書に記載された内容とは異なった動作をする場合があります。
- Dm-コントローラーの動作距離は、見通しの良い場所で最大70m以内です。Dm-コントローラーから複数のDm-360を操作する場合、極まれに受信できないストロボがでたり、到達距離が短くなるなどの影響がでることがあります。Dm-コントローラーでDm-360を操作したときは、コントローラーからのワイヤレス操作がストロボに反映 (受信) されていることをご確認ください。
- 無線周波数帯域での干渉や、壁、コンクリート、水辺、使用環境の特性により、操作距離が短くなることがあります。また、不発光、同調不良、誤動作が起きる場合もあります。
- Dm-コントローラーは無線LANと同様に 2.4GHz帯の周波数を使用しています。無線LAN環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。(使用周波数: 2.402GHz ~ 2.481GHz)
- Dm-コントローラーをカメラに装着、取り外しをする際は必ず、コントローラーとカメラ本体のメインスイッチを「OFF」にしてください。
- 撮影の際はカメラのシャッターボタンを半押しして、ピント合わせが確実に完了してから、シャッターボタンを全押ししてください。不発光、同調不良の原因となります。

■仕様 品名

Dm-コントローラープラス

型式	FUJIFILM用: DM-FJ-CO+
使用周波数	2.402GHz ~ 2.481GHz
チャンネル数	80チャンネル
フラッシュグループ	4 (A/B/C/D)
動作距離	70m以内 ※使用環境により異なります。
シンクロスピード	TTLモード: 先着シンクロ
	マニュアルモード(M): 先着シンクロ
	TTL高速シャッターモード(TTL+H): ~ 1/8000sec マニュアル高速シャッターモード(M+H): ~ 1/8000sec ※カメラの機種により異なります。
シンクロソケット	ホーンジャック (2.5φ)
機能拡張端子	有り
使用電池	アルカリ乾電池単4形(1.5V) 2本
スリープモード	有り (無操作10秒間で作動)
寸法	54(w)×42(h)×83(d)mm
重量	66g(本体のみ)

●本仕様は2019年2月現在のもので、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。